

中央社保協ニュース

13-22号 6月6日発行・中央社会保障推進協議会 (TEL 03-5808-5344)

「医療・介護総合法案」は撤回しかない！参議院で廃案へチャンス！全国から要請FAXを！

5日の厚生労働委員会で田村厚生労働大臣は、日本共産党小池晃参議院議員の質問に答え一定所得のある年金世帯の介護保険利用料を1割から2割へ引き上げる根拠となる資料（「余裕があるから2割負担可能」とした可処分所得307万円の平均消費支出は247万円と使用していましたが、この平均消費支出世帯の可処分所得の平均は197万円）を使用しての説明「60万円の余裕があるから負担は可能」としていたことは、「撤回する」と答えました。衆議院でも同じ資料で説明したのですから衆議院での審議の差し戻し、廃案しかありません。昨日の委員会でも全野党がそれぞれの立場から質問し、「19本の一括採決は反対」で一致しています。座り込み行動（雨天のため議員面会所で実施）では日本共産党辰巳孝太郎参議院議員が激励「国土交通委員会でもリニアモーターカーの乗客数に人口減を見込まないデータが使われている。根っこは同じ。各分野から安倍暴走政治ストップを」と激励。



国会議員要請行動の報告では「審議開始時にはファックスが届いているが、紙代を請求したい」というとんでもない声もありましたが、5日の要請では「ファックスがたくさん届いているのでみなさんの声は聴いています」と変化し、「よく話を聞いてくれた」などの感想も出されました。要請・抗議のファックスを全国から急いで送りましょう！そして、国会傍聴も反対する議員を励まし、強行しようとしている与党議員への圧力となります。
○「要請 FAX (案)」と各委員・田村厚労大臣・内閣官房の宛先を「連絡文書」で送ります。各県・地域から声をあげましょう！

<参議院厚労委員会を傍聴して>

〇これではますます入院できなくなる！<神経難病 Y さん>いま、法案廃案のチャンスです！今日の委員会を傍聴して29～41項目に増やされた「特定医療行為」の内容や、研修実施の状況を聞きぞっとしました。重大な医療行為が医師でない医療職から行われるのか、その実態を知りました。看護師さんたちも大変だけど患者もこわい！きちんと論議を尽くして欲しい！神経難病団体は、「安心して入院できる環境を！ベッドを減らさないで」と6年前から運動を進めてきました。今回の法案でますます入院できなくなる、と要望書をまとめ来週中に厚生労働省に提出します。廃案に向けてがんばります！

〇根拠の崩れた法案は撤回させるしかない！<千葉県社保協 藤田まつ子>「医療・介護総合法案」に盛り込まれた「一定所得以上の介護保険利用料を1割から2割に引き上げる」ことの根拠が崩れました。原老健局長が新資料で「(消費支出を減らして)やりくりしていただければ」と言い訳しましたが、過少な消費水準のデータによるごまかしだということが明らかです。「きわめて重大なデータねつ造と言われても仕方ない」と小池議員。厚労省側は答弁不能におちいり、審議はたびたび中断。「ウソを重ねるから、またウソを重ねなければならぬ」との追及に与党委員は失笑。後日再答弁となりました。さらに、地域支援事業では要支援者の認定率が3倍の格差が生じていることから、介護費用は逆に増大すると指摘。審議を重ねるごとに医療、介護を受ける権利を奪う法案の中身が次々に明らかになりますが、マスコミはほとんど取り上げず国民に知らされていません。「頑張れば廃案にできる」と話し帰路につきました。

◆国会前座り込み行動◆ 短時間でも参加を！

6月10日(火) 12日(木) 17日(火) 19日: 10:00~15:00

場所: 参議院議員会館前(雨天の場合は参議院議員面会所)

座り込み行動と議員要請、委員会傍聴を行います。

◆当面の国会行動◆

6月11日(水) 院内集会・国会議員要請

時: 10:30~15:30(予定) 会場: 衆議院第2議員会館多目的室

内容: 国会情勢報告(小池晃参議院議員)、国会議員要請、まとめの集会

6月12日(木) 12:00~13:00(予定)

会場: 参議院議員会館1階講堂

主催: 医団連・ドクターズデモンストレーション実行委員会→社保協も結集。

◆参議院厚生労働委員会・中央公聴会◆ 場所: 参議院厚生労働委員会室

6月10日(火) 10:00~16:55→参考人質疑

6月12日(木) 10:00~17:00→現在調整中(予定変更可能性あり)

6月16日(月) 13:00~17:00→中央公聴会